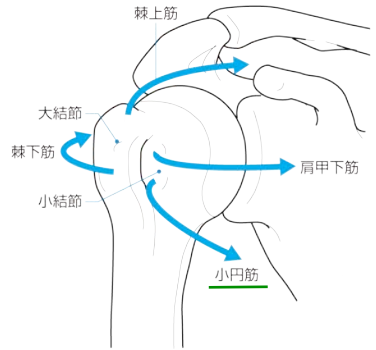
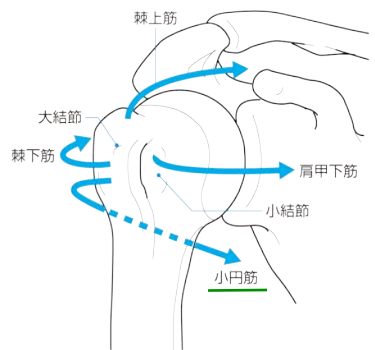


『柔道整復師 ブルー・ノート 基礎編』正誤表

『柔道整復師 ブルー・ノート 基礎編』（2013年3月30日発行 第1版第1刷）に誤りがありました。ここに深くお詫びいたし、訂正申し上げます。

(2013年11月28日 メジカルビュー社編集部)

ページ	該当箇所	誤	正																				
p.10	表 7	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">II型線維</td> <td>II b 型</td> <td>中間筋線維</td> <td></td> </tr> <tr> <td>II a 型</td> <td>白筋線維</td> <td></td> </tr> </table>	II型線維	II b 型	中間筋線維		II a 型	白筋線維		<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">II型線維</td> <td>II a 型</td> <td>中間筋線維</td> <td></td> </tr> <tr> <td>II b 型</td> <td>白筋線維</td> <td></td> </tr> </table>	II型線維	II a 型	中間筋線維		II b 型	白筋線維							
II型線維	II b 型	中間筋線維																					
	II a 型	白筋線維																					
II型線維	II a 型	中間筋線維																					
	II b 型	白筋線維																					
p.11	図 7	a 中枢神経 b 末梢神経	a 中枢神経系 b 末梢神経系																				
p.23	表 3 タイトル	眼窩の四縁を構成する骨 (7種)	眼窩の四縁を構成する骨																				
p.23	図 6 タイトル	眼窩の周壁を構成する骨	眼窩の周壁を構成する骨 (7種)																				
p.25	表 9	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">篩骨洞</td> <td>篩骨迷路中で前, 中, 後の3群をなす</td> <td>中鼻道</td> </tr> <tr> <td>篩骨蜂巢 (蜂の巣城の無数の小室からなる)</td> <td>下鼻道</td> </tr> </table>	篩骨洞	篩骨迷路中で前, 中, 後の3群をなす	中鼻道	篩骨蜂巢 (蜂の巣城の無数の小室からなる)	下鼻道	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">篩骨洞</td> <td>篩骨迷路中で前, 中, 後の3群をなす</td> <td>上鼻道</td> </tr> <tr> <td>篩骨蜂巢 (蜂の巣状の無数の小室からなる)</td> <td>中鼻道</td> </tr> </table>	篩骨洞	篩骨迷路中で前, 中, 後の3群をなす	上鼻道	篩骨蜂巢 (蜂の巣状の無数の小室からなる)	中鼻道										
篩骨洞	篩骨迷路中で前, 中, 後の3群をなす	中鼻道																					
	篩骨蜂巢 (蜂の巣城の無数の小室からなる)	下鼻道																					
篩骨洞	篩骨迷路中で前, 中, 後の3群をなす	上鼻道																					
	篩骨蜂巢 (蜂の巣状の無数の小室からなる)	中鼻道																					
p.27	下から2行目	・三叉神経 (顎下神経) 支配である。	・三叉神経 (下顎神経) 支配である。																				
p.43	上から2行目	・作用: 白線を張り, . . .	・作用: 白線を引 <sup>っ</sup> 張り, . . .																				
p.43	下から14行目	・後葉は臍より下位3~7cm で欠如 (境界に弓状線を形成) する。	・後葉は臍より下位3~7cm 以下で欠如する (下縁を弓状線という)。																				
p.44	上から3行目	・後壁: 周壁中最弱	・後壁: 周壁中最 <sup>で</sup> 弱																				
p.50	図 29	 <p>※小円筋の矢印を修正</p>																					
p.51	図 30 注釈	三角隙: 橈骨動脈と上腕深動脈	三角隙: 橈骨神経と上腕深動脈																				
p.55	表 46	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">突出部</td> <td>内側上顆</td> <td>内側の突出部で直<sup>状</sup>に内転筋結節がある</td> </tr> <tr> <td>外側上顆</td> <td>外側の突出部</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">関節面</td> <td>内側顆</td> <td>脛骨の同名顆と関節する。…</td> </tr> <tr> <td>外側顆</td> <td>同名顆と関節する。…</td> </tr> </table>	突出部	内側上顆	内側の突出部で直 <sup>状</sup> に内転筋結節がある	外側上顆	外側の突出部	関節面	内側顆	脛骨の同名顆と関節する。…	外側顆	同名顆と関節する。…	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">突出部</td> <td>内側上顆</td> <td>内側の突出部で直<sup>上</sup>に内転筋結節がある</td> </tr> <tr> <td>外側上顆</td> <td>外側の突出部</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">関節面</td> <td>内側顆</td> <td>脛骨の同名顆と関節する。…</td> </tr> <tr> <td>外側顆</td> <td>脛骨<sup>の</sup>同名顆と関節する。…</td> </tr> </table>	突出部	内側上顆	内側の突出部で直 <sup>上</sup> に内転筋結節がある	外側上顆	外側の突出部	関節面	内側顆	脛骨の同名顆と関節する。…	外側顆	脛骨 <sup>の</sup> 同名顆と関節する。…
突出部	内側上顆	内側の突出部で直 <sup>状</sup> に内転筋結節がある																					
	外側上顆	外側の突出部																					
関節面	内側顆	脛骨の同名顆と関節する。…																					
	外側顆	同名顆と関節する。…																					
突出部	内側上顆	内側の突出部で直 <sup>上</sup> に内転筋結節がある																					
	外側上顆	外側の突出部																					
関節面	内側顆	脛骨の同名顆と関節する。…																					
	外側顆	脛骨 <sup>の</sup> 同名顆と関節する。…																					

p.68	上から 9 行目	…、骨部（鋤骨、篩骨の <b>垂直板</b> ）。	…、骨部（鋤骨、篩骨、 <b>前頭骨、涙骨、蝶形骨、下鼻甲介、鼻骨、上顎骨、口蓋骨</b> ）。														
p.71	図 4	<b>咽頭室</b>	<b>喉頭室</b>														
p.75	最終行	・左肺（ <b>水平裂/上葉、下葉</b> ）	左肺（ <b>斜裂/上葉、下葉</b> ）														
p.76	下から 4 行目	・ II 型：界面活性剤を分泌して表面張力を低下させる。	・ II 型：界面活性剤を分泌して表面張力を低下させ <b>肺胞を伸展しやすくさせる</b> 。														
p.81	表 4	<table border="1"> <tr> <td>水平部</td> <td><b>下行部</b>ともいう</td> </tr> </table>	水平部	<b>下行部</b> ともいう	<table border="1"> <tr> <td>水平部</td> <td><b>横行部</b>ともいう</td> </tr> </table>	水平部	<b>横行部</b> ともいう										
水平部	<b>下行部</b> ともいう																
水平部	<b>横行部</b> ともいう																
p.92	図 4 注釈	尿管は集合管に合流し、多数の <b>周</b> 集合管が・・・	尿管は集合管に合流し、多数の集合管が・・・														
p.108	表 1	<table border="1"> <tr> <td>導出動脈</td> <td>頭蓋骨を貫通して<b>脳表面の静脈</b>と・・・</td> </tr> </table>	導出動脈	頭蓋骨を貫通して <b>脳表面の静脈</b> と・・・	<table border="1"> <tr> <td>導出動脈</td> <td>頭蓋骨を貫通して<b>硬膜静脈洞</b>と・・・</td> </tr> </table>	導出動脈	頭蓋骨を貫通して <b>硬膜静脈洞</b> と・・・										
導出動脈	頭蓋骨を貫通して <b>脳表面の静脈</b> と・・・																
導出動脈	頭蓋骨を貫通して <b>硬膜静脈洞</b> と・・・																
p.132	図 1b の下部																
p.132	図 2	前正中 <b>溝</b>	前正中 <b>裂</b>														
p.134	表 4	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">3 対の側柱</td> <td>上小脳脚</td> <td><b>深部感覚（筋や関節からの入力）が後脊髄小脳路をなす</b></td> </tr> <tr> <td>中小脳脚</td> <td>橋底部と小脳を連結して大脳皮質と小脳皮質を結ぶ</td> </tr> <tr> <td>下小脳脚</td> <td><b>小脳からの出力（一部入力：前脊髄小脳路）経路をなす</b></td> </tr> </table>	3 対の側柱	上小脳脚	<b>深部感覚（筋や関節からの入力）が後脊髄小脳路をなす</b>	中小脳脚	橋底部と小脳を連結して大脳皮質と小脳皮質を結ぶ	下小脳脚	<b>小脳からの出力（一部入力：前脊髄小脳路）経路をなす</b>	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">3 対の側柱</td> <td>上小脳脚</td> <td><b>小脳からの出力（一部入力：前脊髄小脳路）経路をなす</b></td> </tr> <tr> <td>中小脳脚</td> <td>橋底部と小脳を連結して大脳皮質と小脳皮質を結ぶ</td> </tr> <tr> <td>下小脳脚</td> <td><b>深部感覚（筋や関節からの入力）が後脊髄小脳路をなす</b></td> </tr> </table>	3 対の側柱	上小脳脚	<b>小脳からの出力（一部入力：前脊髄小脳路）経路をなす</b>	中小脳脚	橋底部と小脳を連結して大脳皮質と小脳皮質を結ぶ	下小脳脚	<b>深部感覚（筋や関節からの入力）が後脊髄小脳路をなす</b>
3 対の側柱	上小脳脚	<b>深部感覚（筋や関節からの入力）が後脊髄小脳路をなす</b>															
	中小脳脚	橋底部と小脳を連結して大脳皮質と小脳皮質を結ぶ															
	下小脳脚	<b>小脳からの出力（一部入力：前脊髄小脳路）経路をなす</b>															
3 対の側柱	上小脳脚	<b>小脳からの出力（一部入力：前脊髄小脳路）経路をなす</b>															
	中小脳脚	橋底部と小脳を連結して大脳皮質と小脳皮質を結ぶ															
	下小脳脚	<b>深部感覚（筋や関節からの入力）が後脊髄小脳路をなす</b>															
p.137	上から 2 行目	・ 歯状核、球 <b>形</b> 核、栓状核、室頂核の 4 核…	・ 歯状核、球 <b>状</b> 核、栓状核、室頂核の 4 核…														
p.137	「Point」の上から 2 行目	● 視床脳と床下部からなる	● 視床脳と <b>視床</b> 下部からなる														
p.143	上から 11 行目	・ 脊髄神経節—脊髄後角の索細胞— <b>同</b> 側の前索を上行…	・ 脊髄神経節—脊髄後角の索細胞— <b>反対</b> 側の前索を上行…														
p.161	「Point」の上から 5, 6 行目	・ パッチニ小体：触 <b>角</b> ，圧覚（皮下組織：手掌，足底，陰茎，陰核） ・ メルケル小体：触 <b>角</b> ，圧覚（表皮下層）	・ パッチニ小体：触 <b>覚</b> ，圧覚（皮下組織：手掌，足底，陰茎，陰核） ・ メルケル小体：触 <b>覚</b> ，圧覚（表皮下層）														

p.164	5 視覚器「Point」の3行目	● <b>視格</b> の伝導路神経、特に視神経の半交叉（耳側半分と鼻側半分）	● <b>視覚</b> の伝導路神経、特に視神経の半交叉（耳側半分と鼻側半分）																																															
p.174	表1	<table border="1"> <tr> <td rowspan="6">前頸部</td> <td>前頸三角</td> <td>(胸鎖乳突筋, 下顎下縁, 前正中線)</td> </tr> <tr> <td>顎下三角</td> <td>顎二腹筋と下顎骨下縁 (顎下腺)</td> </tr> <tr> <td>オトガイ下三角</td> <td></td> </tr> <tr> <td>頸動脈三角</td> <td></td> </tr> <tr> <td>筋三角</td> <td>舌骨下筋群</td> </tr> <tr> <td>喉頭隆起</td> <td></td> </tr> <tr> <td><b>胸鎖乳突筋部</b></td> <td><b>外側頸部 (後頸三角)</b></td> <td><b>肩甲鎖骨三角 (=大鎖骨上窩), 後頭三角 (斜角筋隙)</b></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">後頸部</td> <td>項窩(こうか, ボンノクボ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>隆椎 (第7頸椎) 棘突起</td> <td>突出は C<sub>6</sub>で20%, T<sub>1</sub>で10%</td> </tr> </table>	前頸部	前頸三角	(胸鎖乳突筋, 下顎下縁, 前正中線)	顎下三角	顎二腹筋と下顎骨下縁 (顎下腺)	オトガイ下三角		頸動脈三角		筋三角	舌骨下筋群	喉頭隆起		<b>胸鎖乳突筋部</b>	<b>外側頸部 (後頸三角)</b>	<b>肩甲鎖骨三角 (=大鎖骨上窩), 後頭三角 (斜角筋隙)</b>	後頸部	項窩(こうか, ボンノクボ)		隆椎 (第7頸椎) 棘突起	突出は C <sub>6</sub> で20%, T <sub>1</sub> で10%	<table border="1"> <tr> <td rowspan="6">前頸部</td> <td>前頸三角</td> <td>(胸鎖乳突筋, 下顎下縁, 前正中線)</td> </tr> <tr> <td>顎下三角</td> <td>顎二腹筋と下顎骨下縁 (顎下腺)</td> </tr> <tr> <td>オトガイ下三角</td> <td><b>顎二腹筋前腹, 舌骨, 正中線</b></td> </tr> <tr> <td>頸動脈三角</td> <td><b>総頸動脈</b></td> </tr> <tr> <td>筋三角</td> <td>舌骨下筋群</td> </tr> <tr> <td>喉頭隆起</td> <td></td> </tr> <tr> <td><b>胸鎖乳突筋部</b></td> <td><b>胸鎖乳突筋</b></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2"><b>外側頸部</b></td> <td><b>外側頸三角 (後頸三角)</b></td> <td><b>斜角筋隙</b></td> </tr> <tr> <td><b>肩甲鎖骨三角</b></td> <td><b>大鎖骨上窩 (体表での名称)</b></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">後頸部</td> <td>項窩(こうか, ボンノクボ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>隆椎 (第7頸椎) 棘突起</td> <td>突出は C<sub>6</sub>で20%, T<sub>1</sub>で10%</td> </tr> </table>	前頸部	前頸三角	(胸鎖乳突筋, 下顎下縁, 前正中線)	顎下三角	顎二腹筋と下顎骨下縁 (顎下腺)	オトガイ下三角	<b>顎二腹筋前腹, 舌骨, 正中線</b>	頸動脈三角	<b>総頸動脈</b>	筋三角	舌骨下筋群	喉頭隆起		<b>胸鎖乳突筋部</b>	<b>胸鎖乳突筋</b>		<b>外側頸部</b>	<b>外側頸三角 (後頸三角)</b>	<b>斜角筋隙</b>	<b>肩甲鎖骨三角</b>	<b>大鎖骨上窩 (体表での名称)</b>	後頸部	項窩(こうか, ボンノクボ)		隆椎 (第7頸椎) 棘突起	突出は C <sub>6</sub> で20%, T <sub>1</sub> で10%
前頸部	前頸三角	(胸鎖乳突筋, 下顎下縁, 前正中線)																																																
	顎下三角	顎二腹筋と下顎骨下縁 (顎下腺)																																																
	オトガイ下三角																																																	
	頸動脈三角																																																	
	筋三角	舌骨下筋群																																																
	喉頭隆起																																																	
<b>胸鎖乳突筋部</b>	<b>外側頸部 (後頸三角)</b>	<b>肩甲鎖骨三角 (=大鎖骨上窩), 後頭三角 (斜角筋隙)</b>																																																
後頸部	項窩(こうか, ボンノクボ)																																																	
	隆椎 (第7頸椎) 棘突起	突出は C <sub>6</sub> で20%, T <sub>1</sub> で10%																																																
前頸部	前頸三角	(胸鎖乳突筋, 下顎下縁, 前正中線)																																																
	顎下三角	顎二腹筋と下顎骨下縁 (顎下腺)																																																
	オトガイ下三角	<b>顎二腹筋前腹, 舌骨, 正中線</b>																																																
	頸動脈三角	<b>総頸動脈</b>																																																
	筋三角	舌骨下筋群																																																
	喉頭隆起																																																	
<b>胸鎖乳突筋部</b>	<b>胸鎖乳突筋</b>																																																	
<b>外側頸部</b>	<b>外側頸三角 (後頸三角)</b>	<b>斜角筋隙</b>																																																
	<b>肩甲鎖骨三角</b>	<b>大鎖骨上窩 (体表での名称)</b>																																																
後頸部	項窩(こうか, ボンノクボ)																																																	
	隆椎 (第7頸椎) 棘突起	突出は C <sub>6</sub> で20%, T <sub>1</sub> で10%																																																
p.178	図9																																																	
p.180	表3	<table border="1"> <tr> <td><b>外後頭神経</b></td> <td>外後頭隆起の外方 2~3cm</td> </tr> </table>	<b>外後頭神経</b>	外後頭隆起の外方 2~3cm	<table border="1"> <tr> <td><b>大後頭神経</b></td> <td>外後頭隆起の外方 2~3cm</td> </tr> </table>	<b>大後頭神経</b>	外後頭隆起の外方 2~3cm																																											
<b>外後頭神経</b>	外後頭隆起の外方 2~3cm																																																	
<b>大後頭神経</b>	外後頭隆起の外方 2~3cm																																																	
p.284	表3	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>骨格筋</td> <td></td> </tr> <tr> <td>横紋の有無</td> <td>あり (横紋筋)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>神経支配</td> <td>運動神経</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ギャップ結合</td> <td><b>あり</b></td> <td></td> </tr> </table>		骨格筋		横紋の有無	あり (横紋筋)		神経支配	運動神経		ギャップ結合	<b>あり</b>		<table border="1"> <tr> <td></td> <td>骨格筋</td> <td></td> </tr> <tr> <td>横紋の有無</td> <td>あり (横紋筋)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>神経支配</td> <td>運動神経</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ギャップ結合</td> <td><b>なし</b></td> <td></td> </tr> </table>		骨格筋		横紋の有無	あり (横紋筋)		神経支配	運動神経		ギャップ結合	<b>なし</b>																								
	骨格筋																																																	
横紋の有無	あり (横紋筋)																																																	
神経支配	運動神経																																																	
ギャップ結合	<b>あり</b>																																																	
	骨格筋																																																	
横紋の有無	あり (横紋筋)																																																	
神経支配	運動神経																																																	
ギャップ結合	<b>なし</b>																																																	